

日本Whole Person Care研究会の設立趣旨

カラフルなスライド

京都大学医学部附属病院 緩和医療科
恒藤 暁

マギル大学 (McGill University)



第3回国際Whole Person Care学会



バルフォア・マウント (Balfour Mount)



- ・カナダの緩和ケア医
- ・北米の緩和ケア (Palliative Care) の父
- ・緩和ケア病棟を1975年に開設
- ・マギル大学医学部でWhole Person Care (WPC) 教育プログラムの開発に1999年に着手

マイケル・カーニー (Michael Kearney)



- ・ アイルランド出身の緩和ケア医
- ・ セント・クリストファー・ホスピスで研修
- ・ 『A Place of Healing』 を2000年出版
- ・ 「癒し」を提唱
- ・ マギル大学でのWPC教育プログラムの開発に協力

トム・ハッチンソン (Tom Hutchinson)



- ・ アイルランド出身の緩和ケア医
- ・ 現在のWPC教育プログラムの責任者
- ・ 医学生に2005年からWPCの教育開始
- ・ 『Whole Person Care』を編集&執筆
- ・ 国際Whole Person Care学会を主催(2013年～)
- ・ International Journal of Whole Person Care

祝 辞

日本WPC研究会の創設を心よりお祝い申し上げます。
マギル大学のWPC教育プログラムへの日本の皆様の関わりは、私がその責任者になる以前からであり、長年にわたります。私が恒藤先生にお会いしたのは、国際緩和ケア学会がモンリオールで開催された2008年です。それ以来、日本とカナダにおいて建設的な交流がもたれてきました。日本から多くの方々が国際WPC学会に参加して下さいました。また、『新たな全人的ケア』と『Whole Person Care実践編』の2冊の本が日本語に翻訳されました。WPCへの高い関心とその実践への強い願いが、日本や世界にあることは明らかです。この目標を達成するために、先見の明のある恒藤先生のリーダーシップの基で日本WPC研究会が創設されることは最善の方法であると思っています。この第一歩がWPCならびに患者さんへのより良いケアに繋がる、極めて重要な役割を果たすに違いないと確信しています。

今後、日本WPC研究会と新たな協力関係を深め、胸躍らせる取り組みがなされることを心から楽しみにしています。おめでとうございます。

日本Whole Person Care研究会

- ・ 名称

Whole Person Care Association Japan (WPC-J)

- ・ 目的

マギル大学において開発されたWPCの普及・啓発

- ・ 事業

研究会, ホームページ, その他

『Whole Person Care実践編』

Whole Person Care
Transforming Healthcare
Tom A. Hutchinson

Whole Person Care

実践編

医療AI時代に
心を調え、心を開き、心を込める

著 トム・A・ハッチンソン
訳 恒藤 暁



 **ホスピス財団**
公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団

 **三輪書店**

Whole Person Care

治 療

癒 し

問 題

症状や機能障害

苦 悩

目 標

長生きすること

成長すること

焦 点

疾 病

病いのある人間

認 識

サイエンス（知識）

アート（知恵）

対 応

標準化

個別化

「マインドフルネスに基づく医療実践」

1. 注意と気づき : Attention and Awareness
2. 調和のとれたコミュニケーション : Congruent Communication
3. 気づきと意思決定 : Awareness and Decision Making
4. 臨床的な調和 : Clinical Congruence
5. レジリエンスの形成 : Building Resilience
6. 苦悩に応答することこと : Responding to Suffering
7. マインドフルネスに基づく調和のとれた病院実習とその後 :
Mindful Congruent Practice in Clerkship and Beyond

STOP

1. Stop : 立ち止まる

2. Take a breath : 呼吸に意識を向ける

3. Observe : 観察する

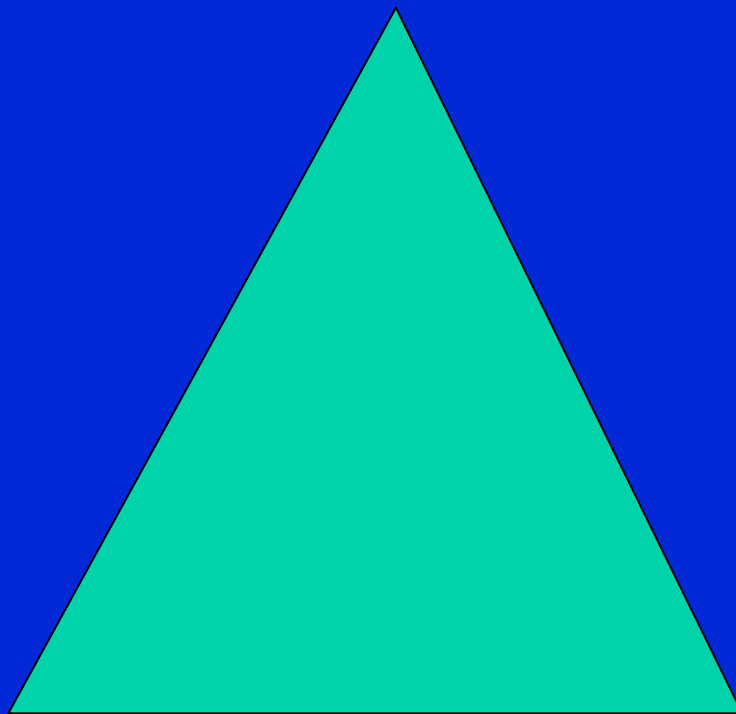
内界 [自分の内側] の思考・感情・身体感覚
外界 [自分の外側] で何が起きているのか

4. Proceed : 続行する

特定の行動をとる場合もとらない場合もある

一体性 (Wholeness)

身体感觉



身体

心

調身

タツノオトシゴの写真

脊椎

人体の脊椎の画像

日本Whole Person Care研究会の活動予定

- ・ 第2回研究会

2020年11月28日(土)午後 昭和大学

- ・ 第3回研究会

2021年3月13日(土)午後 岡山大学

- ・ ホスピス財団主催 国際セミナー

2021年秋 東京&大阪 ハッチンソン先生

- ・ 第4回国際Whole Person Care学会

2021年10月20-22日 カナダ・モントリオール

ProblemからWorkへ

- ・ Work : 「問題理解」 「私という問題」
- ・ 腹をくくり，主体的に取り組む
- ・ 逃げ腰でなく，本腰でかかる
- ・ 心を調え，心を開き，心を込める